



## 上ノ郷遺跡（かみのごういせき）

上ノ郷遺跡は、JR 西熊本駅周辺に広がる遺跡です。かつて遺跡の東側を流れていた旧白川の自然堤防上に立地します。

弥生時代から古墳時代にかけて集落や墓地などがつくられ、これに伴う土器、石器などの生活用具が出土しています。同じ自然堤防上に広がる八ノ坪遺跡から白藤遺跡群にかけては、関係のある一連の遺跡として考えられます。



一つの土坑から大量に出土した土器

これまで、弥生時代から古墳時代の遺跡として知られていましたが、近年の発掘調査により奈良～平安時代の竪穴住居や井戸、溝など集落が広がっていたことを確認しました。

規模の大きな掘立柱建物や、高位の人が葬られていたと考えられるお墓が発見されており、多くの土器と共に硯や近畿地方で製作された緑釉陶器など貴重な品物も出土しています。

大型の掘立柱建物や硯などが出土していることから、通常集落とは異なる官的な施設が存在した可能性も考えられます。

白川下流域の歴史を知るうえで、非常に注目される遺跡です。



お墓に供えられた鏡と土師器